

<年間の流れ>

附属幼稚園では、年間に四回の教育実習を行っています。

①教職入門（幼稚園参観）

一年次

前期に教職入門の一環として、幼稚園参観が一回程度行われます。

小学校、中学校の参観も併せて経験し、教職への志向、意欲を高めていきます。

②基礎実習（参観実習）

二年次

例年6月中旬に、一日をあてて行われます。

午前中は3・4・5歳児の保育参観を行い、午後は、副園長による幼稚園教育全般にかかわる講義や、保育参観を受けての質疑応答を本園教員も交えて行います。

③応用実習I（前期）

三年次

五月中旬から六月中旬まで、四週間の期間で行われます。例年、八名程度の実習生が派遣されますので、各学級2～3名が配属されます。

幼児は4月の入園、進級から一ヶ月程度の時期であり、まだ不安定な様子も見られるので、実習生であっても大切なかかわりとなります。

④応用実習I（後期）

三年次

九月上旬から十月上旬までの四週間で行われます。人数や内容は前期と概ね同様です。

一年の中でも特に過ごしやすい気候の時期なので、どの学年に配属されても、幼児と活発に過ごしてほしいと思います。